

蔵出しお宝ニュース

— 第 47 号 —

三原市歴史民俗資料館では、所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と行事の案内・紹介などを随時行って参ります。

第4回 みはら雛まつり展を開催中

平成 27 年 2 月 28 日（土）から 3 月 15 日（日）まで、当館 1 階で「第 4 回 みはら雛まつり展」を開催いたしております。江戸中期に作られた享保雛（女雛のみ）から現代の雛人形まで、雛飾りの移り変わりがわかる展示内容です。



ロビーには 9 段飾りの「三原浮城雛」を飾っています。三原浮城雛は数組の段飾りを、特製の 9 段に所狭し陳列しており、あたかも地から湧いたような迫力がありますので、三原城の別名にちなんだこの名称を付けております。

展示室には昭和 30 年代までよく見られた御殿雛を 3 組飾っております。御殿雛が写っている、当時の雛まつりを撮影した古写真もあり、幼少の頃を懐かしむ来館者も多数いらっしゃいます。

また、御殿の中に三原だるまをおさめた「三原だるま御殿雛」もあります。

うきしろロビーを中心に、三原市内で 3 月 15 日まで雛飾りが楽しめる「おひなまつり」も開催されていますので、まち歩きを兼ねてぜひ資料館へもお運びください。



（左上） 1 階展示室の様子

（左下） 三原だるま御殿雛

リニューアル展示解説会を開催します



(上) 2階常設展示のうち、原始古代から中世・三原城までの様子

三原市歴史民俗資料館では2階の常設展示を、三原市の歴史に沿った内容に展示替えしています。

その中で、展示替えを終えた三原市の原始古代から中世、三原城の展示についての、リニューアル展示解説会を開催いたします。展示物だけでなく、その背景まで解説の予定です。

解説は三原市歴史民俗資料館専門委員会委員長の福井万千さんが務めます。

日時は平成27年3月14日(土)の午前10時から午前11時30分までと、午後2時から午後3時30分までで、2回行います。場所は三原市歴史民俗資料館で、定員は20名(先着順・申し込みは不要です)。参加費は無料です。

今回の解説会を機会に、三原の歴史に関心を持っていただければ幸いです。

ご不明な点がございましたら三原市教育委員会文化課 TEL0848-64-9234 か、三原市歴史民俗資料館 TEL0848-62-5595 までお問い合わせください。

解説内容

- 1 氷河時代とナウマンゾウ
- 2 貝持貝塚と縄文時代の交易
- 3 稲作の開始と高地性集落
- 4 県内最大級の梅木平古墳
- 5 御年代古墳と家形石棺
- 6 横見廃寺跡出土の軒丸瓦
- 7 沼田荘と小早川氏
- 8 磨崖和霊石地蔵
- 9 中世の梵鐘など
- 10 三原城と石垣

発行 平成27(2015)年 3月5日
〒723-0015 三原市円一町二丁目3番2号
三原市歴史民俗資料館
TEL 0848-62-5595

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。